



在京古高同窓会会報 第41号

〒113-0034 東京都文京区湯島3-20-9-707 佐藤清勝税理士事務所内 在京古高同窓会事務局
TEL (03) 5818-2673 FAX (03) 5818-267
URL http://www1.ttcn.ne.jp/~furuho Email zaikyo-furuho@mx5.ttcn.ne.jp
発行責任: 曾根 研一 編集長: 亀井 明 印刷: (株)ケーヨー

故郷を大いに語り合いましよう

会長 高橋 俊裕



皆様お健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年の総会以降、一月の四校合同新年会も幹事の皆様のご尽力で盛会裡に終わりました。参加者が若干減少しましたが、来年は古高が当番でもあり、盛り上げる新年会にしようといふ頭を絞っています。

去る三月一日は、母校が男女共学になって初めての卒業生を送り出しました。女子学生の中には和装の方も多数あり、大いに新鮮味を感じたことでした。又、氏名を呼ばれて大きな声で返事をする者も半数以上あり、以前の雰囲気とは随分変わりました。今年は進学生・進学率にもいろいろ変化があったようで、校長先生も晴れやかでした。比較的静かな卒業式の中にも凛としたものが感じとれ、共学の良い面が出ているように思いました。今後の母校の発展を大いに期待したいものです。(在京同窓会も女性メンバー受入れの対応が必要で)

の空白が余りにもひどく、与野党ともに政治家としての使命を果していないことに愕然としています。また社会では、異常な事件が次々と起こり、この国が大混乱を起こしているように思えます。戦後の国造りに携わってきたと自負している我々世代にとつては真にやり切れません。

子供塾を開いている友人が調査した結果では、小学校六年生のうち50%以上が、「人は死んだら再び生き返る」と思っているそうです。ゲームの影響でしょうか、この人達は大きくなったらどうなるのでしょうか。私達に出来ることはないのでしょうか。

そんなことを考えている中、久しぶりに東北を旅してきました。田園延べ二十キロ走行の旅でした。田園も風景も都市部を中心に随分変わりました。それでも、この風景、この人の語り、この食べ物の味、自分の原点みたいなものがまだまだ沢山残っています。この故郷はいつまで残るのだろうか気になりました。考えてみれば故郷を離れて五十年。自分の出稼ぎ人生に終止符を打ち、次の世代の育つ故郷造りに残りの人生をかけてもいいなと思っただ次第です。

今年の古高同窓会には沢山の参加が期待され、自分を育てた故郷を大いに語り合いませんか。奮ってご参加下さい。

良きかな古高

古川高等学校校長 山本 照夫



在京古高同窓会の皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

三月一日の卒業式には、会長の高橋俊裕様、幹事の佐々木恭次様、編集長の亀井明様にご出席を頂き、東京宝雪賞の授与とご挨拶を高橋会長より頂きました。有難うございました。

初めての女子卒業生、女子同窓生が、この三月に誕生しました。古高は新しい時代に入りました。進学生でも、宮城大看護学部、東京女子大、実践女子大、日本女子体育大、石巻日赤高等看護学校などの女子主体の大学等への進学がありました。

三月卒業生徒は、大学進学で大いに健闘しました。国立大学に七十二名が現役合格し、過去最高、郡部拠点高校の中で最高、仙台市内の仙台南高、仙台南高、泉高を抜いて、仙台市内のトップ高校に続くものとなりました。ここ三年

在京同窓会メモ
・会計年度は4-3月、年会費は一口2,000円です。
・会の健全運営のため、振替用紙が同封された方には、納入をお願い致します。
・次回会報第42号は2009年1月1日発行予定、原稿は常時受付。

第16回 旧古川市内四校関東同窓会「新年の集い」
予告
日時 平成二十一年 一月三十一日(土) 十一時
場所 上野精養軒
公演 新春コンサート
幹事校 在京古高同窓会
詳細は次号の会報でお知らせします。

は、七十名、六十八名、七十二名で、安定した実績と約三人に一人の現役国立大合格です。まだ差のある仙台一高などのトップ高校に迫るべく鋭意努力中です。

三月卒業生徒の確定進路先を見ますと、東京都には、首都大、東京農工大、電気通信大、明治大、青山学院大、立教大などに約三十名が進学し、埼玉大、筑波大、防衛大、高崎経済大、都留文科大、神奈川大などの関東圏に約十五名が進学しました。

五十名弱の生徒が関東圏の大学に進学しています。在京同窓会の案内などの連絡をして頂き、まだ若い未熟な古高同窓生を導いて頂ければ、誠に幸せに存じます。

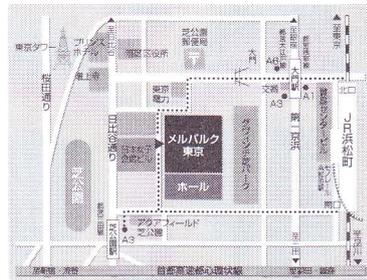
四月七日の入学式で、男子百二十四名、女子百十六名、計二百四十名が入学しました。女子の増加傾向がありますが、応援団による入学直後から二週間の素足と大声での応援練習、勉強と部活動の両立に励んで自らを鍛える姿は、昔と変わらぬ伝統です。

校訓である「質実剛健」「学問尊重」「自主自律」を意識しつつ、骨太な生徒を育成し、発展し続ける古高でありたいと教職員一同努力しています。

在京同窓会の皆様には、母校を暖かく見守って頂きますと共に、変わらぬご支援ご厚情をよろしくお願い申し上げます。

平成20年度 在京古高同窓会定時総会・懇親会

【日時】平成20年6月21日(土) 11:30~15:00
【会場】メルパルク東京 (右図参照)
【会費】8,000円
【講演】戸島 潤氏
(兼栗ぬまっこくらぶ副理事長・事務局長)
演題:「ラムサール条約と渡り鳥を
活用した地域振興の可能性」



【講演講師】戸島 潤氏 プロフィール
昭和46年東京都渋谷区生まれ。平成9年東北大学大学院理学専攻卒業。同年7月兼栗ぬまっこくらぶ発起人となり、平成13年から副理事長と事務局長を兼務。大崎地方合併協議会田尻町住民代表、田尻地域農業推進協議会委員、田尻高校評議員などを歴任。平成20年6月から大崎市の教育委員。田尻町在住。



お知らせ

メルパルク東京 〒105-8582 東京都港区芝公園2-5-20 TEL 03-3433-7211
【交通案内】JR・モノレール「浜松町駅」北口 徒歩8分/都営地下鉄三田線「芝公園駅」A3出口 徒歩2分/都営地下鉄浅草線・大江戸線「大門駅」A3・A6出口 徒歩4分

”螢雪“

第四十一号に寄せて

古川高校同窓会

会長 渡邊 義之



ここ大崎耕土にも、凶南歌に歌われております花爛漫の春が来ましたが、在京同窓生の皆様方におかれましては、益々清栄のことと心からお慶び申し上げます。

また、常日頃から本校同窓会の振興・発展の為、多大のご支援・ご協力を賜っておりますことに対し、衷心より謝意を申し上げます。御陰様を持ちまして、母校古川高校は、昨年創立百十周年を迎え、十一月二日にささやかながらも古高らしい記念式典を挙行することが出来ました。

この式典には、在京同窓会から高橋会長さん、それに同窓生でもある十八回生の佐々木義昭県教育長、同じく十八回生の柏葉浩明県高校長会会長（仙台第二高等学校長）等のご臨席を頂き、素晴らしき式典に花を添えて頂きました。式典後は二十四回生の東北大学



医学部教授の伊藤貞嘉先生から「バンカラで世界を目指せ」という題で記念講演をして頂き、在校生徒並びに多くの参加者に大きな感銘を与えてくださいました。

また、この三月一日の卒業式では、東京螢雪章や仙台螢雪章等の授与の後、式が挙行され、古高開校以来、初の女子の卒業生を出し、真に男女共学の完成を目の当たりに致しました。

このように、母校も大きな転換期を迎えましたが、古高のいわば「不易」とも言うべき伝統はいささかも揺らいでいない現実に安堵した次第であります。

母校も一つの転換期を迎えましたが、我が同窓会も一大転換期にあります。

皆様既にご存知のことと思えますが、一昨年と昨年の総会を経て、今年度から他の多くの県立高校の同窓会同様に、同窓生各位から、年会費（二〇〇〇円）を納入して頂き、それでもって会の運営にあたりたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

会費納入につきましては、いろいろなご意見もございましょうが、在校生に支えられる同窓会から脱皮したいと考えておりますので、ご理解・ご支援を賜れば幸いです。終わりに在京同窓会が螢雪の絆を一層強められ、高橋会長さんを中心に益々ご発展されますことをご祈念申し上げ、発刊のご挨拶と致します。

近況報告

事務局長 大山 義男



去る四月七日平成二十年度古川

高校は、新たに入学学生二四〇名（内女子一一六名）を迎え、全校七一〇名（内女子三〇八名）でスタートいたしました。今年の古高は昨年に引き続き「古高エポリューション」をスローガンとして、品位と誇りと志ある古高生を目指して頑張っております。

昨年十一月二日に開催しました創立一〇周年記念式典には、在京同窓会長高橋俊裕様を始め、各方面からのご臨席、ご祝辞を頂き誠にありがとうございました。

当日の記念講演会講師は東北大学総長特任補佐（東北大学大学院医学系研究科教授）の伊藤貞嘉先生（高二十四回）でした。演題は「バンカラで世界を目指せ」と題し、古高時代の思い出やアメリカでの研究生生活、二〇〇七年のノーベル医学生理学賞受賞者オリバー・スミス氏との交流、また、専門分野の腎臓レニンのお話を通して、校歌の一節「高きを慕い、理想の影と粧うべく」、「本物」を目指すために必要な心構えを力を込めて、教え

て頂きました。一方、進学面では、今年の卒業生は過去最高の成果を上げました。国公立大学合格者は七十二名に達し、難関私大にも多くの合格者を出しました。

これは、地道な勉学への取り組みの他、課外講習や部活動を通しての時間のけじめ、目標への集中力の育成に努めた成果でもありません。（詳しくは別紙参照）

また、部活動でも、昨年度はソフボール部のインターハイ出場（三年連続十四回目）を始め、柔道部の東北大会出場、陸上部の県下駅伝六位、野球部の秋季大会北部南地区準優勝、サッカー部の新人大会大崎地区優勝、吹奏楽部の県大会出場、アンサンブル全国大会出場、今年になってからのスキー部アルペン競技での東北大会出場、クロスカントリーでインターハイ出場などの目覚ましい活躍が見られました。

さて、最新の話題といたしまして、四月二十五日に第四十九回築高定期戦Ⅱ写真Ⅱが行われました。昨年奪回した優勝杯を守るべく、全校一丸となつて戦いました。生憎の悪天候のため、綱引き、ソフトテニス競技の中止ということもあり、バレー男女、バスケット部女子は勝ちました。三勝六敗一分けという結果、残念ながら優勝杯を渡

す結果となつてしまいました。（通算三三勝十三敗三分け）

最後に同窓会運営に關しましては、今年度は同窓生の皆様に会費納入のお願いを申し上げることになりました。

昨年度の総会に於いて会費制導入に關して様々な意見を頂戴いたしました。が、母校の活動と同窓会の運営を支えるためには同窓各位のご協力が必要です。

また、今後同窓会の活動内容をお知らせするためにも会報等でお知らせして参る所存ですので、今後とも本部同窓会活動にご理解、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。



東京蛍雪賞

二〇〇八年三月一日の母校卒業式に出席した。新制になってから六十回目、また古高の百年を越える歴史の中で初めて女子の卒業生を送り出すという記念すべき卒業式であった。

私自身母校の卒業式に出席するのは自分の卒業以来の二十八年ぶりということになる。

入場してまず感じたのは、三分の一を占める女子のいでたちが華やかなことで、今で言えば女子大生風、昔であれば女学校ばりの袴姿が多かったこと。一方男子はスーツ姿が目立った。

卒業式に先立ち、皆勤賞(二十五名)、蛍雪賞(二十四名)、東京蛍雪賞(二名)、仙台蛍雪賞(二名)の授与が執り行われた。

記念品等の授与の後、在京の高橋会長、在仙の高橋会長から挨拶があり、卒業生に対する大きな期待を示された。

卒業証書授与式は、君が代の斉唱の後、クラスごとに男女混合の五十音順に卒業生氏名が読み上げられ、クラス代表の生徒が壇上で校長より卒業証書を受け取るというスタイルであった。

一時期に流行ったらしい妙なパフォーマンズ(?)も以前と比べるとだいぶ影を潜めており、これは共学化の副産物かとも感じた。

(亀井)



左より佐々木幹事、高橋会長、山中茂樹君、相澤友祐君、亀井編集長

東京蛍雪賞を受賞して

生徒会長 山中 茂樹

この度は、東京蛍雪賞を頂きまして、大変感激しております。賞品の時計は、素敵なお品ですので、大切に扱わせて頂きます。

私が歩んできた三年間は、大変困難を極めるものでしたが、しっかりとした新生古高の基盤を形成する事ができました。

入学当初は、女子の進出に戸惑いました。ですが、古高で学びたいという共通の意志を持った仲間とは、難なく打ち解け合う事ができました。そして、二年・三年時は、『進化する古高』という標語の下、男女共に協力し母校の発展のために尽力しました。

特に力を入れたのは『歴史と伝

統の継承』です。完全共学化したからと言って、男子校の歴史や伝統を蔑ろにしても新しい発展など望めません。そのために、各々が『古高生』としての自覚を持ち、古くからの精神を大切に心を築くよう働きかけました。それが功を奏し、定期戦などの諸行事も先輩方に負けんばかりの実力を発揮しました。

そして、卒業式も男女共々、自らの個性を出した演出で、素晴らしいものにする事ができました。後輩諸君には、私達の築いた古高を礎に、更なる進化の力添えをして頂きたいものです。

今回頂いた賞は、私にとって大きな励みです。微力ながらも動しんだ活動を讃えて頂いたからです。舞台は大学に変わりますが、私はこれからも日々邁進し、古高の名を轟かせるように努力したいです。

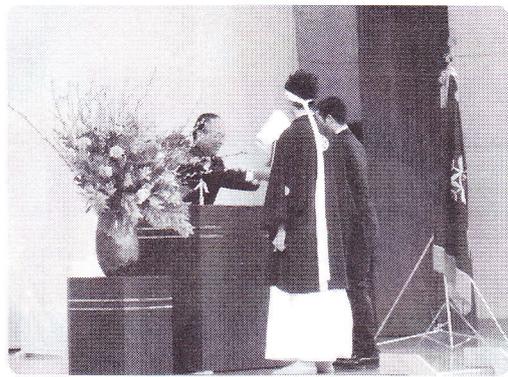
(東北大学工学部進学)

応援団長として学んだこと

応援団長 相澤 友祐

この度、東京蛍雪賞という素晴らしい賞を頂き、本当にありがとうございます。私が過ごした高校三年間は、卒業という形で終わりを迎えました。

三年間はあっという間に過ぎ、特に三年生の時は気が付くと一年が終わってしまったという風に感じられました。



高橋会長から授与される受賞者

その三年生の時に、本格的に応援団長としての仕事が始まりました。何もかもが初めての事で、不安がいつも隣りにありました。不安だが自分が率先して行動しなければならぬ。このことが一番私が悩んだことだと思います。

私が応援団長として学んだことはこの不安に関する事です。どうせ不安になるのなら、何かをやって不安になってやろうと気持ち切り換える事です。思い立ったら何かしらの行動をとるということを学びました。

これはこれからの人生で自分を強く支えてくれると思います。これからも努力を重ね、この賞に恥じないように将来の夢に進んで行きたいと思っています。今まで本当にありがとうございました。

(専修大学文学部進学)

平成19年度進路状況 (現役のみ)

国立大	50名	学部	現役	合計
秋田	2	工	2	2
岩手	10	農	2	10
		法	1	
		理	1	5
		工	3	
宮城教育	6	学校教育	1	6
		障害児教育	3	
		生涯教育	2	
		人文	1	
		教育	1	9
		理	1	
		工	5	
		農	1	
福島	3	教育	3	3
筑波	2	2	2	2
埼玉	3	3	3	3
電気通信	1	1	1	1
東京農工	1	1	1	1
新潟	2	2	2	2

大学	学部	現役	合計
富山	2	2	2
静岡	1	1	1
名古屋工業	1	1	1
琉球	2	2	2

公立大	24名	大学	学部	現役	合計
釧路公立	1	1	1	1	1
秋田県立	2	2	2	2	2
秋田国際教養	2	2	2	2	2
岩手県立	2	2	2	2	2
宮城	6	6	6	6	6
高崎経済	5	5	5	5	5
首都大東京	1	1	1	1	1
都留文科	2	2	2	2	2
静岡県立	1	1	1	1	1
金沢美術工芸	1	1	1	1	1

私立大	204名	大学	学部	現役	合計
弘前学院	2	2	2	2	2
岩手医科	1	1	1	1	1
盛岡	2	2	2	2	2
		文	11		
		経済	25		
		法	13		
		工	19		
		教養	17		
		交関主文・経	4		
東北工業	9	9	9	9	9
東北福祉	17	17	17	17	17
東北薬科	2	2	2	2	2
宮城学院女子	23	23	23	23	23
仙台白百合女子	2	2	2	2	2
石巻専修	9	9	9	9	9
尚絅学院	5	5	5	5	5
東北文化学園	1	1	1	1	1
いわき明星	4	4	4	4	4
奥羽	2	2	2	2	2
国際医療福祉	1	1	1	1	1

大学	学部	現役	合計
城西	4	4	4
獨協	1	1	1
文教	1	1	1
千葉工業	1	1	1
平成帝京	1	1	1
青山学院	3	3	3
桜美林	1	1	1
共立女子	1	1	1
工学院	1	1	1
駒澤	2	2	2
実践女子	1	1	1
芝浦工業	1	1	1
成城	1	1	1
専修	1	1	1
大正	1	1	1
拓殖	2	2	2
帝京	4	4	4
東海	2	2	2
東京女子	1	1	1
東京電機	3	3	3

大学	学部	現役	合計
東京農業	6	6	6
東京理科	6	6	6
東洋	4	4	4
日本	10	10	10
日本女子体育	1	1	1
法政	1	1	1
武蔵工業	4	4	4
明治	5	5	5
明星	1	1	1
立教	1	1	1
麻布	2	2	2
神奈川	4	4	4
神奈川工科	2	2	2
北陸	1	1	1
帝京科学	1	1	1
愛知学院	2	2	2
京都外国語	1	1	1
同志社	2	2	2
立命館	2	2	2
大阪産業	1	1	1

会員による自由投稿

米大手銀行に

40年勤務して

昭31年卒 浅野 清



私は昭和31年、農林省管轄の土地改良区に就職が内定して... 東京支店の入社試験を受け合格しましたので、銀行に興味を持つと同時に不安を感じながらも、入行する決心を致しました。

チェース・ナショナル銀行の歴史についてお話しをしましょう。同銀行は1877年9月16日、石油事業で大成してニューヨークに誕生しました。

日本には1947年12月1日、旧丸の内ビルの一角で発足、当時は外人従業員5名、日本人従業員は12名、合計17名でした。

1955年、水道事業で業績を上げたマンハッタン銀行と合併し、チェース・マンハッタン銀行と名称が変わりましたが、私はその翌年の1956年に入行しました。

チェース・マンハッタン銀行東京支店と大阪支店は、日本の銀行

法に基づいて営業し日(銀行と同じです。

続いて軍用銀行施設の開設は、軍人・軍属・家族が利用する銀行として軍事基地・住宅に設立されていきました。立川・横田・横須賀・府中・ワシントンハイツ・グランドハイツ・ジョンソン等。

私は1956年、ワシントンハイツに配属され窓口業務の仕事をしていました。当時の為替レートは、1ドル360円で固定相場でしたが、現在は変動相場で行われています。見る書類全てが英語で、漢字は一つもありません。英語を読んで日本語に訳し、書く、会話と要求されます。輸出・輸入の仕事ですとスペイン語も入る事があります。

銀行は5時に仕事が終わりますので、目白のロゴス英会話学校に入り、初級・中級・上級と進み、勉強して修了しました。銀行に修了証を提出し、授業料は全額支払ってもらいましたが、修了しない場合は全額自己負担となります。

軍用銀行の業務内容について説明しましょう。

本国ドル・軍票・円と3種類の通貨を取り扱います。軍票は本国ドルと同じで軍人さんの給料として支払われ、ベトナム戦争と朝鮮戦争のときに使用されたと思われるものです。当座預金・普通預金・小切手の発行と現金化、ドルを円に、円をドルと交換、電報送金等、私はキヤンプ・ドールで窓口業務をしていました。

あるとき、私の窓口ひとり

軍人が見えて5ドル紙幣を出し、円と交換して下さいとの事、一寸待つてほしいと話し、紙幣に触れたら直感で偽ドルと判断、MP(日本の警察と同じ)に電話で連絡、MPが私の窓口に来たので説明し、軍人は連行されました。後に偽ドルである事が確認され、銀行の総支配人より表彰状と感謝状、手紙と記念品を受け取りました。

私は軍用銀行で現金出納課に17年間、東京支店で23年間働きました。勤続40年です。

当時の日本は外貨不足で困っていましたが、その時、日本政府に3億ドル、アメリカの三大銀行のシティ銀行、チェース・マンハッタン銀行、アメリカ銀行で貸し付けをしました。輸出・輸入の決済は90%がドルで決済され、円建てを含め他通貨の決済は5%、10%です。

当時、当行の頭取であり会長でもあったデビット・ロックフェラーについて一寸話しましょう。

ロックフェラー・センターには銀行も置かれ、Xマスツリーでも有名になっています。ロックフェラー財団は全世界に援助の手を広げていますが、野口英世先生(医学博士)も、ロックフェラー財団に所属し、医療の研究をされたと伝えられています。ロックフェラーは世界中の財閥で、ビジネスでも自家用機で世界中を駆けめぐっていますが、東京支店にも姿を見せ、私は2分程の会話を致しました。

京支店での仕事の内容を一寸説明しましょう。

銀行業務は日本の銀行と同じですが、当行は共産国家を除いて世界中に支店を持っています。

コルレス契約も銀行と結び、日本の銀行より早く決裁されます。送金も、輸出・輸入の決済についても同様です。日本の銀行の場合海外に支店が少なく、コルレス銀行も少ないため、どうしても決裁に時間がかかりますが、当行は業種別に分けて信用調査を行っています。

例えば、自動車・石油・電機・繊維・飲料等。信用調査でOKが出ますと、貸付部(ローン)で貸付が実行されます。一回の貸付額は何百万ドルとなります。

外資企業と日本企業の違いを一寸触れましょう。

日本の企業の場合は、これから成長する会社には銀行は資金を貸し出し、安定した企業はメインバンクとして取引が続き収益も上がります。

外資系の銀行はこれから成長する企業には絶対に貸付はしません。アメリカのシステムを日本でも行おうとするから無理な件も出てきます。私は総支配人に話しました。「ここは日本である。アメリカではないので、日本に合った営業をすることが大事である」「浅野の云っていることは理解はできるが、本店の指示である」

日本とアメリカの習慣について話しましょう。

例えばアメリカの場合は、小さな子供が転倒した時、親は絶対に手を出しません。子供がひとりです立つのを待ちます。日本の場合はどうでしょう。直ちに手を貸すでしょう。これが、ほんの一例です。

日本企業の場合の上司関係について話しましょう。

社員・係長・課長・部長・社長とありますが、例えば仕事が終わりに帰りに一杯のお酒を飲む時にも「課長!」「部長!」と云ってお酒を飲みます。外資系企業の場合では考えられません。例え当行の総支配人であろうとMR、MRS、MISSで話すことができます。

仕事中でも、オフィスを出入ら役職名は絶対に使いません。日本の企業の場合、夏には中元、暮にはお歳暮と届け物をしている様ですが、外資企業に於いては全然関係がないようです。

私の嬉しいニュースをお知らせ致しましょう。

私は平成7年の9月で定年退職致しましたが、その時に男性の学生アルバイトが5名いました。その内のひとり武田君が、平成20年4月1日よりNHK午後7時のニュース担当アナウンサーになりました。当時、武田君はNHKに就職が決まっていると話しておりました。

私も定年退職して13年になりましたが、武田君も入局して13年、NHKの顔となるのに十数年かかったことになりました。

故郷(ふるさと)は遠くにありて想うもの……と、よく言われますが、新幹線や高速道路の時代になっても、また、距離の遠近に係わらず、故郷は掛け替えのない故郷なんですね。

一方、外国の有名観光地などをあちこち見て来たと言いながら、国内や同郷のすばらしい歴史や文化、自然などをスポイルしている「灯台下暗し派」も少なくない昨今です。

それで、私達を育ててくれた故郷・大崎地方に目を向けてみますと、恵まれた歴史、文化、自然、環境、人文などがどの程度、親しく見聞・修得され「故郷力」となって生かされているのかな、との思いに駆られることもあり

と言ったことで、市町村合併などで変ぼう進化している様子なども含め、①故郷・大崎圏域の探訪・学習と、②同窓会員の親睦・交流を主たる目的に古高同窓会(本部)・在仙古高同窓会・在京古高同窓会三者の共同企画による「ふるさと探訪ツアー」などどうでしょうかね。

その一「母なる荒雄・江合川水系コース」
JR古川駅に集合―古高表敬―稲改良の最前線宮城県古川農事試験場―古代の名生官衙跡(国史跡Ⅱ国指定史跡)と中世の大崎氏城跡―県畜産試験場―伊達政宗の岩出山

「ふるさと探訪ツアー」など面白そうですね!

昭24年卒 門脇 健

城跡と有備館(国史跡・国指定名勝)―鳴子温泉・奥の細道と尿前の関跡・鳴子峡―鳴子ダム―鬼首高原・間けつ泉など―古川駅解散。

その二「吉野作造と黄金山産金コース」

古川駅―大正デモクラシーの吉野作造記念館―宮沢遺跡(国史跡)と化女沼―千葉周作の斗室神社―ラムサール条約の伊豆沼―水鳥群来の蕪栗沼と加護坊山(標高224メートル)―笹岳山(232メートル)と笹峯寺―天平の産金遺跡(国史跡)と黄金山神社―浦谷城など。

その三「葉菜山と鳴瀬川水系コース」

古川駅―葉菜山登山(標高553メートル)―加美町のバツハホールと鮎の里―色麻の古墳群・今は昔の王城寺原―三本木の山畑穴古墳・亜炭博物館―松山城跡と一ノ蔵酒蔵―品井沼干拓と草鞋村長など。

それぞれ盛沢山のコース案ですが、この企画案は同窓会本部・在仙・在京の三者が共同で企画し、協力して作業を進め、広く会員サービスに資そうとするものですから、まずもって三者の会長なり担当役員なりで合意を得る必要があります。

その上で、地元である同窓会本部を中心に具体案を話し合っため、会員各位の賛同を得て、楽しく実施されえたらばと思う次第です。一つの提案です。ご検討のほどを。



大崎市ホームページ：
<http://www.city.osaki.miyagi.jp/>

内科・小児科
長井内科
院長 医学博士
長井弘策
〔昭和31年卒(高8回) 古川高校同窓会副会長〕
〒989-6154
大崎市古川三日町1-3-25
TEL 0229(91)1020



趣味三昧

特定非営利活動法人

日本刀剣保存会

理事長 **みやの 貞司**
S34年卒

〒142-0053 東京都品川区中延3-13-17
TEL・FAX 03-3782-5326

佐藤 啓三

(S40年卒 中新田)

中小企業診断士・ISO審査員・エネルギー管理士

KGK ISO(品質・環境)・技術・経営
コンサルティング・グループ
株式会社 経営技術機構 所属

〒105-0001 東京都港区虎ノ門5-3-20 仙石山アネックスビル1階
TEL 03-5425-2491 FAX 03-5425-2492
自宅 〒241-0004 横浜市旭区中白根2-22-19
携帯 090-1438-9132 E-mail FZN04730@nifty.ne.jp



モットー

- 旅の安売りは危険、安心安全が第一として旅から多くを学ぶこと
- 机上の安売りプランではなく、足であるいた経験のプランを提供
- 人生は旅のようなものであり、旅もまた人生のようなものである

あなたの夢を実現するためのお手伝い

中鉢 泰平(昭和37年卒)

- 1.宮城県玉造郡鳴子町川渡村黒崎出身、古川高等学校(野球部)卒業後、京都の大学で海外事情研究会所属
- 2.大学卒業後東急航空(現東急観光)時代から国内・国際社会を舞台に現在まで世界旅行業界歴40年間
- 3.特にすぐれた世界の教育・医療・福祉をふくむ各業界の専門分野の視察・研修を手がけ情報を提供し、みずから添乗も行ってきた。世界文化遺産からその国々の観光から体験学習などの国際交流、学会など六か国語を駆使し、あらゆる国々をめくり、添乗(ツアーコンダクター)回数300回を超える
- 4.長年の旅の出会いにより、日本全国に親愛な顧客を持ち、世界各国に多くの友人知人を持っている
- 5.旅を通じ国内世界を問わず、人との出会いを大切に思い、現会社を設立し、代表取締役社長を勤める
- 6.日本イタリア連絡協議会理事・在京鳴子町人会代表・在京宮城ふるさと協議会常任理事・みやぎの夢クラブ常任理事・(財)日本さくらの会会員やふるさと小・中高同窓会幹事及び大学同窓会役員を務める



株式会社インターナショナルヒューマントラベル

〒164-0001 東京都中野区中野2-29-15-204
TEL 03-5385-3693 FAX 03-5385-3694

平成19年度会費納入状況一覽(平成19年4月1日~平成20年3月31日)

同窓会活動の財源としての会費を、皆さまにご協力いただきありがとうございました。平成19年度の年会費を納入された方々のご芳名を記して、お礼に替えさせていただきます。平成19年度の納付書で本年4月1日以降に納入された方は、平成20年度の会費として会計処理させていただいておりますのでご了承下さい。

Table with columns for graduation year (卒年), name (氏名), and list of members. The table lists members from 昭7 to 平8, including names like 杉下 卯兵衛, 伊藤 守治, 岩城 有信, etc.

会員通信

●老いて増々さかんなりというところですか、同総会誌を楽しみにしております。今月(四〇号)の蛭蛭、見ごたえがありました。有難うございます。(S14佐藤裕郎)

●財団法人育英会は昨年三月未解散しました。ボランティアで勤めた十有五年の理事取職から解放されました。(S20日野次郎)

●在仙会長高橋勝夫君と同期です。宜しく。(S23沼津市日新亭代表取締役佐藤浩朗)

●二十年前ぶりに、本を書きました。(S25袖井林二郎)

●うたごえ、散歩に加えて、社交ダンスの練習を始めました。小生にとっては、かなりむずかしいです。(S27齊藤藤林寿郎)

●毎週土曜日は、外国人相手に日本語を教えるボランティア活動を行っています。彼らのまじめな勉強と笑顔を見ると休めません。(S27菅原幸雄)

●昨年は、ロンドン・パリ・ローマを観光しました。今冬は、スイス(アルプス)旅行したいと思っています。今のところ心身ともに健全です。(S28加美電工工業株早坂明久)

●七十二歳となり、ライフワークを始めないと悔いを残さず健康な体力のあるうちに。(S29菊地 務)

●市町村統合で旧町名などが主から従に変わり、長年慣れ親しんだ呼称が遠のいてしまいかぎり、世の流れといえどもそれまでだが役所一辺倒でなく民意を計って決めるのでは遅すぎるのか。今年もまた昔が消えていく。(S29三浦憲一)

●ハガキで一手ずつを交換し打つ郵便基に入って五年。余白の交信にも魅力を感じ、ゆったりとした気持ちで囲基と親しんでいます。会員は五五〇人位。1頁と12頁をカラーにしたA4版12頁の会報(年四回発行)の編集を担当して一年半になりました。(S30木村哲弥)

●古高の発展をうれしく思っています。古高の技術顧問としてまだ少々社会と係りをもつてやっております。(S30瀬戸順徳)

●昨年、私の七十歳は、かつてなく充実した年となりました。低報酬ながらアルバイトができた。その合間にジョイントコンサートのため女声合唱団のリコーダ伴奏役でチェコとスロバキアに連れて行って貰えたからです。特に、スロバキアのトルナバの教会では、細長く高い建物の音響効果は素晴らしく、程良い残響が返って来て、とても気持ちよく演奏できました。(S30高橋 広)

●平成十九年末に大分から東京に戻りました。宜しくお願います。(S30三塚正志)

●現在、生涯スポーツとして発展しております。ターゲット・バードゴルフ(T.B.G.)の日本T.B.G.協会の公認指導者として、又、市協会の公認指導者として、日々を送っております。(S30師山政夫)

●足腰の丈夫な時に色々な会に出席したいと思っております。在京古高同窓会会報にも積極的に投稿したいと考えて居ります。アメリカの習慣と日本の習慣の違い。外資系企業と日本企業の違い。チェス・銀行で四十年の経験を買の許す限り入行から退職まで、投稿したいと思っています。(S31浅野 清)

●1.関東九古高会会長 佐藤公哉君の突然の逝去(十一月一日)同期多数で見送り。2.同右十月同期、古希を祝い、塩原温泉へ、十一名参加。(S32佐々木勝也)

●大崎市には四校以外にもかなりの高校が出来ました。輪を広げたら如何でしょうか。(S33佐々木光一)

●とりあえず元気でやっております。北海道景気は最悪です。有効求人倍率0.52!です。宮城県北海道事務所は日20年未閉鎖されました。ご時世かな? (S33札幌パインビル 森谷拓夫)

●82年以來ずっと世界の生産量を誇る日本工作機械。そんな機械の設計を62年以來延々と続けています。但し、実態は68歳の半歩徘徊老人で、昨年は5000km余、歩き廻りました。(S33東海精機株顧問 渡邊敏也)

●官僚・議員の私利私欲に寛容な国民は、グローバル経済に置いて行かれるだけの国、改革疲れを口実に沈みつつある国になってしまいました。皆様の御健勝を願います。「人の心と降る雪は積もるにつれて道を失う」古人歌。(S34青沼行雄)

●学長に再選され二期目を務めております。つづばエキスプレスで秋葉原から四十五分の近さになりました。大学をお訪ねください。ご案内いたします。(S35国立大学法人筑波技術大学 大沼直紀)

●JICAの派遣で、平成20年4月からシアポランティアで二年間、コスタリカ(中央アメリカ)で勤務することになりました。(S35黒岩哲弘)

●京成グループ一筋四十二年間のサラリーマン生活を終え、スローライフ楽しんでおります。今後共々よろしく。(S35今野正弘)

●佐藤公哉先輩と、同期の佐々木教君の訃報は驚きました。寂しい限りです。(S35菅野俊次)

●9/10、財団法人中東協力センター、在エジプト日本大使館の要請(二回目)で、エジプトの現地食品企業への生産性向上・改善活動・品質管理の向上等の講演と指導を行い、プレスレキサンピラミッド・スフィンクス、レキサン

●ドリア等、観光もさせていただきました。(有)トキノコーポレーション 我妻一美)

●東京都邊野球リーグ一部で活動中です。(S36若葉病院 江崎 肇)

●旧古高が男女共学になった事、最近知りました。時代も変わったものだとつくづく感じる様になりました。自分は毎日仲間の人達とグラウンドゴルフ楽しんで居ります。来年あたり合同新年会に参加希望します。(S36小藤 理)

●仙台で三回目の正月を迎えようとしております。始め違和感のあった夕方の挨拶「お晩です」にも慣れました。冬の風物詩「光のページェント」がスタートし、定禅寺通りのケヤキ並木が電飾で煌々、歓声が上がっています。又折々古川に行き同級生と交流を楽しんでおります。(S36高橋幸裕)

●ゴルフの飛距離も酒量も減り、「何となく程々が良し」と考えるようになりまして。最近ではフィットネスクラブ・ヨガ教室に通い、体調コントロールに努めて居ります。(S36長井 清)

●千葉県野球協会の役員(常任理事、総務担当)をしている為、土日にボランティア活動が集中し、思うように同窓会(出席できる日の来ることを望みながら)。(S37阿部 孝)

●十一月に肩を手術し、今リハビリにて週二回の通院をしております。あと二、三年は野球を続けたく、来年も全国大会を目指し老骨にムチ打ち、頑張る所存です。(S37六戸昭男)

●蛭蛭、なつかしく拝読しております。皆様の活躍を目にするたびに勇気をいただき、青春の一コマを思い出して頑張っております。まだまだ現役!! (S37杉野邦昭)

●平成十九年十月より会津大学に勤務することになりました。(S38杉野邦昭)

●平成十八年十一月に偶然右腎癌が発見され、平成十九年一月に摘出手術を受けました。転移も無く、術後の再発もなく非常に幸運であったと現代医学の恩恵に浴したことを感謝しております。那覇検疫所に勤務して五年目に入りましたが、新型インフルエンザの襲来は益々近づいて来ていると思えます。映画「I am legend」のようにならないように、出来るだけの対策をしたいと思っております。(S38厚生労働省那覇検疫所阿部重人)

●今は年金を戴き乍ら、月十日前後働いている現実である。一生の中で最も平穏な日々を送っていると思っております。仕事上のストレスも重く強い仕事への責任もそれを感じず、唯、体力維持への努力が不足していると感じて居ります。(S38今野丈夫)

●心よりご冥福をお祈りいたします

●佐々木全寿氏 (昭33年卒) 平成19年8月6日

●岩崎 光男氏 (昭27年卒) 平成19年12月15日

●岡田 良雄氏 (昭30年卒) 平成19年1月12日

●萩原 睦男氏 (昭30年卒)旧姓浅野氏 平成20年3月28日

●萩沢 法雄氏 (昭31年卒)在京同窓会幹事 平成19年8月20日

●藤原 弘氏 (昭49年卒) 平成19年10月27日

●何年か前に、この調子で会員の減少傾向が続くと、いつまで年二回の蛭蛭発行を続けることができるか試算したことがあった。あと十年程度で年二回発行が難しくなるという試算だった。ここ二、三年は、「次回以降不要」との連絡が多く、今回の蛭蛭発送数は遂に八〇〇人を割り七九人。皆様、会費の納入をよろしく。私事ではあるが、この春の母校の卒業生に女子の第一期生として私の姪が含まれていました。彼女によれば、女子は優秀で地方の国立大学に行きたがらず、東京の私大に行く方が多い、とのことだった。地方の国立大学は女子にとつて魅力がないらしい。国立大学だから無条件で「いい」という学校側の指導が通じない時代になったようだ。(龍井)

情報処理のエキスパート 完成図書・デジタル化総合サポート

電子納品作成支援 おまかせください!

専任スタッフ・有資格

CALS/ECインストラクター	4名
電子化ファイリング	5名
ファイリングデザイナー	2名
文書情報管理士	5名

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

代表取締役会長 **早坂清吉** (昭和29年卒)

株式会社 **ケーヨー** http://www.keyo.co.jp E-mail:info@keyo.co.jp

本社 千103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6
03-3242-0191 FAX 03-3242-0167

日曜大工園芸用品卸 貸ビル、貸マンション業

株式会社 佐々木商事 代表取締役
株式会社 アクアバンドジャパン 代表取締役副社長

佐々木 光一路 (昭和33年卒)

〒144 東京都大田区南蒲田1-1-21 佐々木ビル
-0035 第一京浜国道沿い京急蒲田駅前

電話 (3739) 2468
FAX (3732) 7700
HOT Line 090-3202-6393